

地域貢献を志す人財創りを目指して

旭川市立大学に

「地域創造学部」が新設！

旭川市立大学に来年4月に開設される「地域創造学部」の学びに関して、地域創造学部の学部長予定者である須田教授にお話を伺いました。

地域創造学部学部長予定者
教授 須田孝徳さん



地域創造学部校舎イメージ



地域創造学部ではどのような人材育成を目指しますか？

地方の人口減少は深刻で、旭川市も例外ではありません。そのような状況では、社会を支える人材も減少し、地域の活力も低下していきます。

この状況を最小限に抑え、**持続可能な地域を創っていくことが何よりも必要**で、地域を取り巻く課題に主体的に関わり、さまざまな方と協働しながら、豊かな発想力で地域の未来を創る人材の育成を目指します。

地域創造学部は文系ですか？理系ですか？

本学部は、「文系だけ、理系だけ」という学びではなく、**「文系も理系も」学ぶ学部**になります。

私自身の経験から、学問分野の垣根を越えることで、視野を広げて物事を捉え、新たな視点も養われていくと思います。

学びの特徴を教えてください。

大きな特徴としては4つあります。

- デジタル時代の基礎である「数理・データサイエンス・AI」を学ぶこと
- 課題発見、解決の活動に「PBL (Project based learning : プロジェクト型学習)」が多く取り入れること
- 幅広い視点と柔軟な発想力・表現力を養うため「デザイン思考」を取り入れること
- さまざまな課題に取り組むために、「地域と連携、協力」していくこと

これらの学びで実践力を積み重ねて、社会で活躍してもらいたいですね。

地域創造学部で取り組んでいきたいことは何かありますか？

「地域との連携、協力」を学びの特徴の一つにしていますので、**さまざまな地域の産業界や団体の皆様とも連携**し、協力しながら、**いろいろなプロジェクトが地域で数多く動いていく**ような環境づくりに取り組めたらと思っています。そのほか、高校生を対象に9月に行った「A I · I o T · データサイエンスミニキャンプ」というイベントで、データ分析に基づく企画提案やプログラムされたI o T機器の活用をグループごとに体験してもらうなど、本学部の学びを知ってもらうための取組みも行いました。高校生が熱心に取り組む姿勢は頼もしく感じましたので、同様の取組みは継続したいと思います。



【詳細】旭川市立大学新学部設置準備室 48・3121または同大学HP

地域創造学部の開設に当たって

このたび、令和8年4月に、旭川市立大学に地域創造学部を開設する運びとなりました。関係各位の皆様には多大なるご支援を賜りまして、改めてお礼申し上げます。

来春から、大学は経済学部、保健福祉学部、地域創造学部の3学部、短期大学部は食物栄養学科、こども地域学科（幼児教育学科から名称変更）の2学科で新たにスタートします。

本学での学びを通じて、変化の激しい時代に適応し、新たな視点を持って社会で活躍できる人材を育成するとともに、知の拠点としてさらなる地域貢献を目指してまいりますので、引き続きご支援をいただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

公立大学法人旭川市立大学 理事長 高瀬善朗
旭川市立大学・旭川市立大学短期大学部 学長 三上隆



動画で
さらに
詳しく！